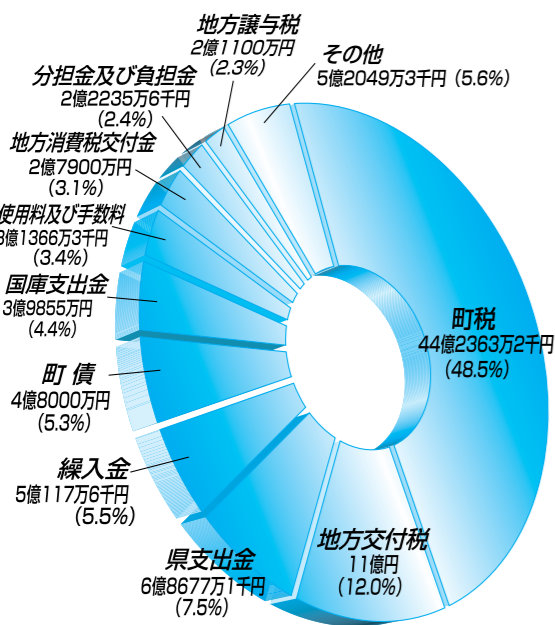


### 平成20年度予算額

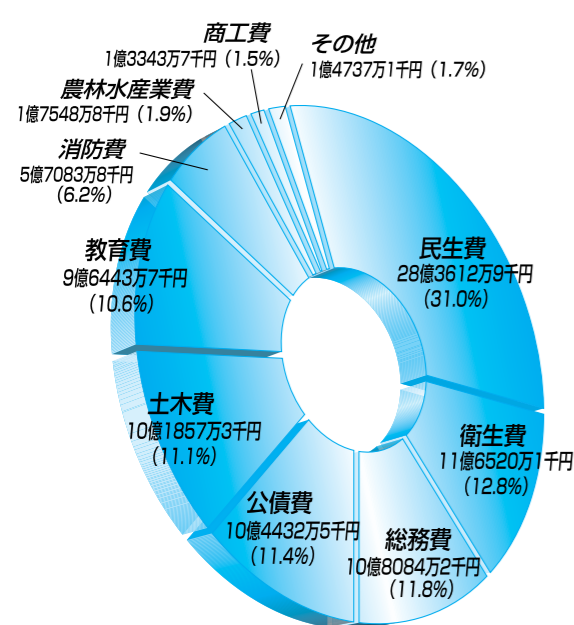
一般会計	91億3664万1千円 (△1.3%)
特別会計	
国民健康保険特別会計	35億6011万1千円 (△5.5%)
老人保健特別会計	5億2409万2千円 (△82.4%)
後期高齢者医療特別会計	3億3082万円 皆増
下水道事業特別会計	11億1219万9千円 (7.9%)
農業集落排水事業特別会計	2億6030万9千円 (5.4%)
公営企業会計	
水道事業会計	18億8740万9千円 (44.6%)
総額	168億1158万1千円 (△9.5%)

( )内は前年度対比%

### 一般会計の予算構成



歳入 91億3664万1千円



歳出 91億3664万1千円

るため、歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、一般歳出および一般会計歳出について厳しく抑制を図り、新規国債発行額を大幅に減少することとしております。

その結果、国の一般会計予算規模は83兆613億円、一般歳出は47兆2,845億円の予算となっております。

地方財政計画では、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入の伸びが鈍化する中で、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移すること等により、依然として大幅な財源不足が生じると見込まれます。このため「基本方針2006」

および「基本方針2007」に沿って、地方歳出を見直すこととし、定員の純減や給与構造改革等による給与関係経費や地方単独事業費の抑制を図り、これらを通じて、地方財政計画の規模の抑制に努めることとする一方、喫緊の課題である地方の再生に向けた自主的・主体的な地域活性化施策の充実等に対処するため、安定的な財政運営に必要な地方交付税および一般財源の総額を確保することを基本として地方財政対策を講じることとしております。

こうしたことから、地方財政収支見通しの歳入歳出規模は83兆3,900億円となっております。

国からの地方交付税は減額され、法人税収の伸び悩みにより減収となることから、その分を県債で補てんし、歳出面では「ゆとりとチャンス」の埼玉プラン」をもとに「選択と集中」による効率的な配分により、予算編成がなされるところであります。

本町の予算につきましては、税制改正や景気動向により町税については一定の伸びがあるものを、依然として自主財源に多くを期待できる状況ではなく、引き続き厳しい状況であります。このような状況にありましても、「第5次寄居町総合振興計画基本構想」を踏まえ、前期基本計画に掲げた諸施策を積極的に推進するとともに、ホンダ寄居新工場の操業開始に向けたインフラ整備等を実施し「安心と活力のあるまちづくり」の実現

に取り組んでまいります。

また、本年度は「寄居町新生チャレンジプラン2006」の3年次目となることから、さらにスピード感をもって取り組み、町民生活の向上を目指して、全職員が一丸となって経費の削減に努め、既存の事務事業や組織の枠にとらわれないことなく、真に必要な事務事業の厳選に努めるところであります。

以上の考えに基づき、平成20年度予算は、5つの事業（2ページ参照）を重点施策として、町民生活の安定と福祉の向上のため、全力で取り組んでまいります。

それでは、主要施策について、「第5次寄居町総合振興計画基本構想」の体系に沿ってご説明いたします。



## 特集

# 平成20年度寄居町の施策と予算

「自然と産業が調和する 創造のまち 寄居」を目指して



### 平成20年度最重点施策

- (1) 企業誘致の推進
- (2) 子育て支援の推進
- (3) 生涯学習施設整備事業の推進
- (4) 学校教育環境整備の推進
- (5) 生活環境整備の推進

一般会計の予算が91億3,664万1千円、特別会計などを含めると168億1,158万1千円の新しい年度がスタートしました。

本年度は「第5次寄居町総合振興計画基本構想・前期基本計画」の2年次目にあたることから、計画に掲げた目標の達成を図るため、諸施策を積極的に展開します。

また、「寄居町新生チャレンジプラン2006」の3年次目となることから、時代に対応した簡素で効率的な行政システムの構築を推進し、町民の皆さんのご意見をいただきながら、財政健全化を図ってまいります。

ここでは、町議会第1回定例会（3月議会）で行った津久井町長の所信表明（一部抜粋）および平成20年度の町の施策と予算の概要についてお知らせします。

**町政運営に関する基本的な考え方**

はじめに、国内の状況につきましては、安倍内閣から、国民の目線に立った「自立と共生」の福田内閣に引き継がれ、平成23年度には、国と地方の基礎的財政収支の黒字化を確実に達成することを目標とするなど、歳出・歳入一体改革を進め、21世紀にふさわしい簡素で効率的な政府を作るため、行政改革を強力に推進し取り組むとしております。

今後とも地方公共団体を取り巻く状況は、厳しい状況が続くものと思われませんが、私は「安心と活力のあるまちづくり」の実現のため、誠心誠意努力をしまいる所存であります。

また、本年度は「第5次寄居町総合振興計画基本構想」の2年次目として「自然と産業が調和する 創造のまち 寄居」を将来像に掲げ、計画した諸事業の展開を図り、町民福祉の向上に一層努めてまいります。

次に、予算編成の基本的な考え方についてですが、国においては、財政健全化に向け、安定した成長を図るとともに「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」および「基本方針2007」を堅持し、平成23年度には国と地方の基礎的財政収支の黒字化を確実に達成す